

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令などに遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる職員数を配置しており、当日の利用者数に合わせてスタッフの配置を調整しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全てバリアフリーにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを行い、目標設定と振り返りをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方に当施設に対しての評価や希望を聞き、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開するとともに、保護者の方にも知らせています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			今後必要に応じ検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各種研修に参加しています。事業所内でも月に一回、資質向上のための勉強会、研修報告などを行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別プログラム、集団プログラムの立案をチームで行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間の予定表を作成し、イベントやレクリエーションが固定しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			毎日子どものニーズに合わせて設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の学習支援と運動療育、並びに集団による活動を組わせて実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず職員間の打ち合わせを行い、利用者ごとの支援の内容や担当を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、振り返りを行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			一人一人、その日の記録をとり、振り返ることで支援の見直しや改善を行っています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に一度、保護者面談を実施するとともに、スタッフで話し合いを行い、個別の支援計画の見直しを行っています。その後、保護者に新しい支援計画の説明を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		外部・内部研修を通し、基本活動を複数組み合わせる支援をしています。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事業所の責任者等参加、対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との連携を図り、情報交換、連絡確認を行っています。突然の変更などについても学校の先生などから連絡をいただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、対象者はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の方の了承を得たうえで、児童発達支援事業所と情報を共有させてもらっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当者が今のところいませんが、今後必要な時があれば保護者様の了承を得て情報の提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて児童発達支援センターから助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		今年度はNPO法人りりあんのおむすびポンとの交流、城陽市のバスケット教室との交流を実施しました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		研修会や懇談会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		事業所での活動はHUGシステムを導入し、これにより行っています。また必要に応じ、電話やメールにて連絡しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		HUGシステムや電話による相談対応、個別相談を行っています。また保護者の希望があれば見学に来ていただき、学習についてや体の動かし方について専門の先生に助言をいただいています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や面談時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けた時は事業所内で話し合い、保護者に対して必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当責任者を配置し、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HUGシステムを活用し、定期的に活動内容のお知らせをしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載されている書類は施錠したロッカーに管理しています。また職員一人一人が個人情報の取り扱いに十分注意をはらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもに対しては必要に応じて写真やイラストなどの視覚支援を行っています。保護者に対しては電話やHUGシステム等でお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	いまのところ予定はありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、月一回訓練を実施しています。各マニュアルはホームページに掲載し、保護者に周知してもらっています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防職員や、警察署職員に来ていただき、指導を受けています。また、月に一回、様々な場面を想定し、訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修に参加し、内容を職員におろし共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行わなければならないケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対象の利用者に対しては保護者から事前に詳細を聞き、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			独自のヒヤリハット事例集を作成し、再発防止に努めています。